



岐阜工業高等専門学校 教育後援会通信

編集：教育後援会事務局

第37号

令和元年12月12日発行



2019年10月26・27日
第55回高専祭

飛驒地区保護者懇談会を終えて



教育後援会副会長

牛丸 圭五

11月2日に飛驒地区岐阜工業高等専門学校保護者懇談会があり、保護者9人、学校関係者（学校長含む）4人が参加されました。当日、午前中に岐阜高専の入学説明会もあり、私と一部保護者と参加させて頂きました。説明会に参加された飛驒地区中学3年生と保護者の方は、学校紹介ビデオを見られた後、座談会方式で質疑応答を行いました。学校関係者の方には、学校特色、進路等の質問がありました。やはり飛驒地区は遠方であることから、生徒の寮生活や学校生活のこなどとは我々保護者に質問がありました。

保護者懇談会では、校長及び学校関係者の方から学校の方向性、学校行事など説明があり、その後、少人数のため、1～5年生の保護者一同と学校関係者一緒に懇談会を行いました。やはり成績や寮生活、進路など保護者ならではの質問、意見がでていました。

入学説明会で気づいたことは、飛驒地区中学校の進学指導への岐阜高専の情報が少ないということ、中にはまったく情報がない中学校もあったようです。保護者懇談会では、数年前に比べ寮生活の心配事は少なくなったようですが、変わって進路特に進学についての質問が多かったように思います。ただ、総じて保護者皆さん学校から子供たちへの色々な対応に感謝されていました。

最後に子供は来年卒業です。長年教育後援会副会長を務めた頂き、ありがとうございました。

保護者見学会に参加して

2年生 保 護 者

令和最初の保護者見学会、行き先はJERA川越火力発電所とジャストリーム長島でした。

予報では雨マークが付いていましたので、雨具を持って参加しましたが一度も使うことなく済みました。

私は前年に続き2度目の参加でしたが今回はお友達と一緒に参加でしたので前回よりも楽しみに当日を迎えました。

バス3台、まずは川越火力発電所を目指します。

バス車内では先生方から最新の進路状況などを含めた学校のお話を聞くことができます。

息子の学科の先生からのお話は何年後かの我が子の姿を想像しつつお聴きする事ができ、他学科の先生からのお話は岐阜高専全体の雰囲気や現況を知る良い機会となりました。

川越火力発電所では高専を卒業後入社4年目の先輩お二人のお話を聴く事ができました。

まだ若いお二人でしたが、それぞれ責任と自信を持ってお仕事をされているお話に未来の息子の姿を重ねました。

関ドライブインでの美味しい昼食とお土産選びの後はジャストリーム長島です。

ここではスイーツにショッピングと女子旅を満喫する事ができました。

知的好奇心、食欲、ガールズ(?)トーク、すべてが満たされた1日となりました。

岐阜高専の保護者ならではの貴重な経験をさせていただき感謝いたします。

保護者見学会に参加して

2年生 保 護 者

川越火力発電所に見学に行かせていただきました。今回初めて参加したのですが、この学校に入学して一年、我が子がやりたいこと、したいことを近くで見えてきてとても有意義にすごしていると感じつつ将来どんな進路を迎えていくのかを心配にもなってきたところ、この見学会で実際に高専を卒業された方のお話を聞いたり、高専で学んだらどんな仕事に就いて活躍しているかなどを聞いて発電所内での仕事等を見て見学出来ました。また先生方の進路のお話もあり数年後どのように考えていくか今後、親子で話し合える良い機会を与えていただきとても感謝しています。

この保護者見学会で他学科、他学年との保護者の方といろいろな交流が出来、毎日忙しく生活している私にとってとても楽しく刺激のある一日でした。また次回もこのような企画があればぜひ参加させていただきたいと思います。

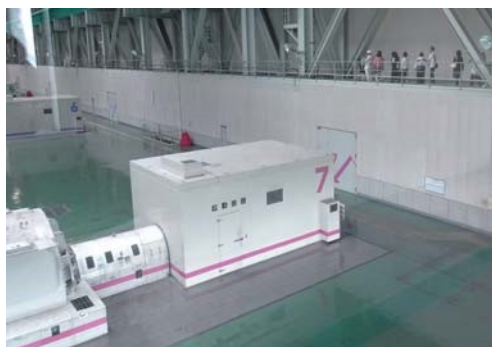
保護者見学会に参加して

2年生 保 護 者

昨年度は、仕事の都合で参加できなかったのですが今年こそは参加したいと思い応募しました。今年の見学地は、株式会社JERAでした。「JERA」といわれてもどこに行くかわかりませんでした。中部電力と東京電力により、2019年4月に新たな会社として設立され、発電事業を集約した会社であるとの説明を受けました。私たちの使用している電力は中部電力がつくっていると思っていたので、大変勉強になりました。火力発電所内の説明を受けていると、自分が学生時代にも同じような説明を受けたような気がしないでもないが…。遙か昔の学生時代を思いだし、すこし懐かしくもありました。

バスの車内では、校長先生をはじめ、教務主事、学生主事、各学科長の先生方から、学校をとりまく環境や、進学、就職状況など近況が聞くことができ、大変有意義な移動時間となりました。

また、普段お話することがない他の学年、学科の保護者のみなさんのお話も聞くことができ、保護者見学会に参加してよかったです。



川越火力発電所の発電設備見学



高専OBとの意見交換

地区懇談会、分科会に参加して

1年生 保護者

初めて岐阜地区保護者懇談会とM科分科会に参加しました。15名ほどが教室で、先生の楽しいお話(受かる面接テクニックなど)と、各学年の勉強、部活動、進学、就職状況や、親御さんの心配事(全学年通じて、子供が勉強していないというお話が多かったです)など様々なお話を聞くことができました。特にシアトル留学と、まだまだ先の話で関心の無かったインターンシップのお話は、やるのは子供ですが、勝手にワクワクして聞いていました。学生全員が、希望の道に進めればいいなと心から願いました。

先日高専ロボコンの地区大会を観て、学生さんたちの情熱に涙しました。高専生全員に先輩や同級生や、部の大会で出会う色々な形の仲間と今しか味わえない経験を楽しんでほしいと願っています。そして親も、この特殊な状況を楽しまない手はないと思います。今度は部活の懇親会をやりたいので、声をかけてみようかなと考えています。

みなさま、大変お世話になりました。また来年も参加しますので、よろしくお願いします。

地区懇談会に参加して

1年生 保護者

地区懇談会に参加させていただきました。他学年の保護者の方ともお話ができて大変良い機会となりました。

休日に関わらず、多数の参加があり、保護者の皆さまの高専への関心の深さを実感しました。

全体会では、就職、進学についての説明があり、キャリア支援室の利用についてなど教えていただきました。また、高専独自の英語教育に関するいくつかのプログラムの説明にも関心を持ちました。分科会では、学年ごとの勉強内容、研修旅行の活動写真などをパワーポイントを使って説明していただきました。卒業研究、進路先についても具体的にわかり、先の見通しが立ってとても参考になりました。

自分の意見をまとめ、わかりやすく伝える力がつく、数多くのレポートの作成、自由な中に自己責任をもち、自立した考えや行動が養われる高専の学生生活に魅力を感じています。

最後になりましたが、先生方をはじめ、関係者の方々の日頃のご尽力に感謝申し上げます。

地区懇談会に参加して

3年生 保護者

今年、初めて地区懇談会に参加させていただきました。うちは寮生でもあり、学校生活については、ある程度子供に任せていた所があったのですが、3年生になり、そろそろ私も子供の現状や進路の事を勉強していかないとけないと思い、参加させていただきました。

先に全体会にて、各部門等からの近況報告。また、保護者見学会のあり方についての意見交換も行われました。見学会に参加が難しい我が家としては、その予算を頑張ってる子供達の為に使っていただけたらと思いますが、参加された保護者の方々からは、とても有意義な会だとの意見もあり、方法を変えてみるのもいいのではないかと感じました。

その後、学科毎に分かれて懇談会が行われました。

先生からは進学や就職についての傾向や、子供達の様子などのお話をいただきました。

保護者の方々からは、子供の様子や日ごろ感じている事、悩み事などを話していきました。話を聞いていると、皆さん同じ様な悩みを持っている事もわかり、上級生の保護者のお話に安心感を覚えたりもしました。

今後、子供と学校生活や進路の話をする上で、色々と感じた事を参考にさせていただきたいと思っています。ありがとうございました。



会長の挨拶



分科会の模様

先端融合開発専攻1年 古野 駿貴

私たちはイギリスに拠点を置くTYK Limited様で3週間インターンシップをさせていただきました。初めは作業を行うときに現地のイギリス人と全くコミュニケーションが取れず大変でしたが、段々とコミュニケーションを取れるようになり自信を持つことができました。また、日本人スタッフの方から海外で働くことについてお話をたくさん聞き海外勤務に対するイメージを持つことができました。今回のインターンシップでは普段の日常生活では経験できないことを多く学ぶことができました。このような機会を与えてくださった関係者の皆様に深く感謝いたします。



先端融合開発専攻1年 丹羽 拓実

私はアメリカのアイオワ大学へ研修に行きました。アイオワ大学があるアイオワ州は、アメリカ合衆国の中部に位置し、航空機をはじめとする工業や、コーンなどの農業で発展している州です。私は、IATLやSHLといった研究施設でプロジェクトを進めながら、キャンパス内の様々な研究施設を見学しました。最新のVRやモーションキャプチャ、実際の自動車を用いたドライビングシミュレーターなどを体験させていただきました。また、現地で日本語を学習している学生とボードゲームを通じて交流することもできました。私はこの研修で、自分から積極的に行動することの大切さや、世界の様々な国の文化の違いを学ぶことができました。このような機会を与えてくださった関係者の方々に深く感謝申し上げます。



先端融合開発専攻1年 木村 彩乃

初めて訪れるインドネシアでの3週間は、とても有意義で貴重な時間になりました。

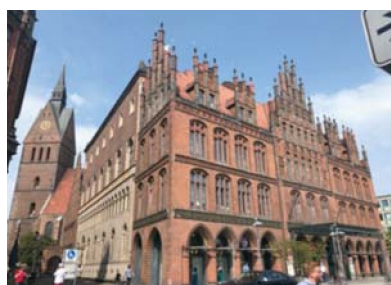
1週目は、インドネシアと日本におけるファッションやメイク方法の違いについて調査をし、2週目以降は、各々の専門分野で興味のあることをテーマに研究を進めました。先生や学生たちに助言を頂きながら、より中身のある研究に仕上げていきました。また、英語能力の向上及び現地の学生との交流を目的としたプレゼンテーションを行い、各々の成果を発表しました。

インドネシアの方は、親日でとても親切です。通学路やタクシー、レストランなどどこへ行っても、みんな気さくに話しかけてくれるので、初めてのインドネシアでの生活に対する不安もすぐに無くなりました。

現地の方との交流を通して、自身の英語力の不足を痛感しましたが、伝えようと努力することが大切であると感じました。今回の実習にとどまらず、これからも様々なことに挑戦していきたいです。



先端融合開発専攻1年 水野 優希



僕はドイツのハノーファー大学で3週間の貴重な時間を過ごす事ができました。ドイツでは気候・気象学の研究室にお世話になり、様々な実験などを行いました。世話役の学生や、研究室の教授が、ハノーファー市内の観光地やイベントにほぼ毎日連れて行って頂きました。👉

●現地の方はとても優しくフレンドリーで言語の壁はありましたが、積極的に伝えようとする姿勢を見れば、理解できるまで聴こうとしてくれる方が多く生活しやすかったです。また、現地の研究室の学生たちは日本に大変興味がある方が多く、日本の文化やアニメについて語り合ったり、日本語を学ぶ点で感じる違和感などについて語り合うことによって普段では気づかない日本について考える事ができました。

最後に、このような機会を設けてくださった岐阜高専の皆様、ハノーファー大学の皆様に感謝申し上げます。

先端融合開発専攻1年 小 寺 智 仁

私はウズベキスタンにあるトリノ工科大学にて三週間実習をさせていただきました。ウズベキスタンでは、AIを研究している学生や通信系に精通している学生、日本語を勉強している学生など様々な学生と交流をしたり、同時期に来ていた他国の留学生と共に実習を行ったりするなど多くの体験をさせていただきました。また、文化の違いも多くあり毎日新鮮な気持ちで生活しました。このような機会を設けてくださった岐阜高専の皆様や現地で支えてくださった学生や教授の皆様に深く感謝申し上げます。



先端融合開発専攻1年 松 浦 光 希

僕は、専攻科の海外インターンで、マレーシアにあるトゥン・フセイン・オン・マレーシア大学(UTMH)に3週間行ってきました。この大学は、ジョホール州のバトゥパハというところにあり、クアラルンプールとジョホールバルの間に位置しています。今年からインターン先として追加された大学で、大学自体も新しいです。UTMHには日本で専門分野を学んだ教授も多く、教養科目に日本語があり、学生もアニメや漫画などの日本文化に興味を持っている人が多いため、すぐに打ち解けることができました。現地の学生はとてもフレンドリーで優しく、初めのうちは毎食ご飯に連れて行ってくれたり、世界遺産の街マラッカへ連れて行ってくれました。

マレーシアの気候は意外と過ごしやすく、夏場の日本よりは少し気温が低くて夜は涼しかったです。心配していたスクールにも遭遇することもなかったため、岐阜よりは居心地が良かったです。ただし、食事には注意する必要があります。安易に注文してしまった1日目の昼ご飯は辛すぎて胃が痙攣していた事を覚えています。そしてまた安易に飲み物を注文してしまった僕は、マレーシアの飲み物が極端に甘すぎることをまだ知りませんでした。

実習では、自分が高専でどのような研究をしているのかを伝え、似ている研究分野の先生を紹介してくれて、自分のやりたいことを学べるスタイルでした。僕が高専で行なっている薄膜の研究室を見学させてもらいましたが、研究の規模がとても大きく、設備も整っていたため良い勉強になりました。この海外インターンでは様々な貴重な体験ができ、行ってよかったと思えました。海外留学の機会があったら、マレーシアに限らず是非行ってみると良い体験ができると思います。



先端融合開発専攻1年 河 村 優 明

今回、マレーシア工科大学で3週間、短期インターンシップに行きました。マレーシア工科大学はマレーシアの理工学系の大学の中で一番大きい学校です。主にマレーシアの建築や設備などを学びました。特に印象に残ったことは派遣先の研究室の活動であるクアラルンプール市と東京都庁の国際会議を傍聴したことです。低炭素社会についての会議でマレーシアの現状や東京都庁の取り組みについて知ることができました。また、現地の人とは基本的に英語でコミュニケーションをとりました。マレーシア工科大学では、国際交流を活発に行っており今回派遣されたときには約3000人の留学生が在籍していました。世界中から留学生が訪れており様々な国の学生と交流することができました。文化や言葉が異なる国で目に映るものがとても新鮮で多くの刺激を得ることができました。とても貴重な体験になりました。



行事予定

◆教育後援会行事予定

令和2年4月19日(日) 教育後援会役員会 10時30分～(令和元年度役員)
5月23日(土) 教育後援会総会 13時30分～

◆主な学校行事予定

1月 7日(火)	冬季休業終、開寮 13:00
8日(水)	開講・月曜日の授業(1～5年・専攻科)
9日(水)	補講・補習(1・2年)平常授業(3～5年)
14日(火)	寮生成人祝賀会、全寮総会
15日(水)	TOEIC試験
18日(土)	寮生スキー研修
25日(土)	第53回吹奏楽部定期演奏会(本巣市民文化ホール)
30日(木)～31日(金)	補講・補習(5年・専攻科)
2月 4日(火)	補講・補習(1～3年)授業(4年)
4日(火)～7日(金)	後期期末試験(専攻科)
4日(火)～10日(月)	後期期末試験(5年)
10日(月)～19日(水)	後期期末試験(1～4年)
10日(月)～18日(火)	平常授業(専攻科)
12日(水)～19日(水)	平常授業(5年)
14日(金)	大掃除(1・2年)
17日(月)	休講
19日(水)	月曜授業(5年)
19日(水)～29日(土)	特別研究補講(専攻科)
20日(木)～27日(木)	平常授業(1～4年)
27日(木)	月曜日の授業(授業終了後)終業式、学生会総会、大掃除、学級指導(本科)
28日(金)	寮生部屋替
28日(金)～3月18日(水)	休講(本科)
29日(土)	閉寮 11:00
3月 1日(日)～18日(水)	休講(専攻科)
19日(木)	第53回卒業式(本科)、第24回修了式(専攻科), 閉講
20日(金)	学年末休業始
31日(火)	学年末休業終、後期終、学年終



(ロボコン特別賞受賞)

*この行事予定は11月時点でのものです。詳細・変更等についてはホームページ等で確認ください。

◆事務局からのお知らせ

11月24日(日)両国国技館で行われたアイデア対決全国高専ロボコン2019全国大会に岐阜高専チームが出場しました。残念ながら敗退してしまいましたが、特別賞を受賞しました。

大会の様子は12月29日(日)10時05分～NHK総合にて放映予定ですので、是非ご覧ください。

また、11月開催の地区保護者懇談会では、保護者見学会のあり方等について、貴重なご意見をいただきありがとうございました。皆様方からいただいたご意見を参考に今後の行事計画等を進めてまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

発行:岐阜工業高等専門学校・教育後援会事務局

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236-2 TEL.058-323-8752

FAX.058-322-6571

E-mail gnctk@iaa.itkeeper.ne.jp